

私は今回、看護学校を指定校推薦で受験しました。受験科目は面接と小論文で、特に小論文対策に力を入れて取り組みました。初めは自分の考えをうまく文章にまとめることができず、何を書けばよいのか分からなくなることも多くありました。文章を書いても内容が浅くなってしまったり、伝えたいことがうまく表現できなかつたりと、悩む日々が続きました。小論文の練習では、先生に添削していただくたびに多くの指摘を受けました。一生懸命書いたつもりでも思うような評価が得られず、悔しくて涙が出たこともあります。「自分には向いていないのではないか」と感じることもありました。それでも「ここで諦めたくない」という思いが強く、何度も書き直しを重ねました。先生方はどんなときも根気強く指導してくださり、一つひとつ丁寧に改善点を教えてくださいました。そのおかげで、自分の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力が少しずつ身についていきました。努力を積み重ねることで、できなかったことができるようになるという実感を得ることができました。

また、私は部活動にも力を入れてきました。部員が一人の時期もあり、思うように活動できず、孤独や不安を感じることもありました。周りと比べてしまい、苦しいと感じることもありました。それでも途中で辞めるのではなく、自分にできることを考えながら活動を続けました。この経験を通して、困難な状況でも粘り強く取り組む力や、自分自身と向き合う大切さを学びました。その結果、面接では部活動での経験を自分の言葉で具体的に話すことができ、自分の強みとして伝えることができたと感じています。また、最後までやり抜いた姿勢が評価され、指定校推薦に選んでいただけたことから、「続けてきてよかった」と強く実感しました。これまでの努力が形として認められたことは、大きな自信につながりました。面接本番では大きな緊張もありましたが、これまで積み重ねてきた経験や努力を信じ、自分の思いを素直に伝えることを意識しました。そして合格をいただいたときは、安心と喜びで胸がいっぱいになると同時に、支えてくださった先生方への感謝の気持ちが込み上げてきました。

これから進学先では、学校の代表としての自覚を持ち、より一層努力していきたいと考えています。看護師という目標に向かい、専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、人の気持ちに寄り添える看護師になれるよう成長していきたいです。今回の受験を通して、努力を継続することの大切さと、周りの支えのありがたさを学びました。この経験を忘れず、これからも自分自身を高め続けていきたいと思っています。